

委託訓練・訓練生が快拳！

なぎなたで日本一の凄腕訓練生誕生！

田中千景さんは、医療・介護保険事務実践家コース（ヒューマンアカデミー京都校）を受講されておられますが、今般12月5日大阪中央体育館で行われた55年の歴史と伝統ある大会「皇后盃 第55回全日本なぎなた選手権大会」に出場され、みごと優勝されました。

しかも、決勝戦では、過去最多7回の優勝を誇る愛媛県・池見選手を破っての優勝です。

その田中さんに大会の様などをインタビューしました。

Q1 いつ頃からなぎなたを始められましたか？

小学校5年（10歳）から足掛け29年続けています。

Q2 始めた理由をお聞かせください。

家の近くになぎなた道場があり、その道場にクラスの友達が通っていたので、見学に行ったところ、道場の人に勧誘されました。妹が剣道を習っていたことや、家が自営業を営んでいたため、出かけることがあまりなく、大会で色々な土地に行けることが、小学生の当時は魅力的で、通うことにしました。

Q3 なぎなたの魅力をお聞かせください。

様々な年代の人となぎなたを通じて仲間になれ、一体感を得られること、特に年配の人が一所懸命であり、大いに刺激を受けます。自分も負けていけないとの思いを強く持ち、人として成長できるのです。

Q4 大会と訓練の両立で気をつけられたことは何ですか？

精神的にはかなり辛かったです。

練習は週に2〜3日程度ですが、訓練は月曜日から金曜日まであり、週末の土日は道場で行われる試合にコーチや審判として出向くため、あまり休む時がなく体調を崩した時もありました。

Q5 この職業訓練の受講動機を聞かせてください。

派遣社員として、12年働いていましたが、自分自身がアピールできるものはありませんでした。

また、競技生活が長いため、自他に関わらず怪我等により医療機関のお世話になる機会も多く、「医療介護保険事務実践科コース」に興味があり、受講しようと思いました。

Q6 受講2ヵ月が経過しましたが、訓練の感想を聞かせてください。

受講前に思っていたよりも、訓練内容が多岐に渡るため、難しく一筋縄ではいかないと感じました。

しかし、確りとやり遂げたいと思っています。